事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	事業所省エネ計画書制度		
所管課	環境局環境政策部 環境・エネルギー対策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成29年度		本市は、大規模事業所が少なく、省エネ法対象外の事業所の占めるエネルギー消費割合が高い特性から、当該事業所への省エネ対策の強化が必要である。(今後も事業所の延床面積の増加が見込まれ、消費量の増加も予測されている)
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市地球温暖化対策実行計画		

基本計画				
施策コード	主	4-1-1		施策成果指標 ○業務部門における延床面積1㎡あたりのエネルギー消費量 (H34年度:0.82GJ)
	再			
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
施策	地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築			
事業群	省エネルギーの推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市内事業者 (原油換算エネルギー消費量750kL/年以上の事業所)
	対象をどのような状態にしたいのか	市内事業者が、自律的・計画的に省エネに取り組むことにより、さらなる省エネが進んでいる状態。省エネを推進することにより、業務部門のエネルギー消費量・二酸化炭素排出量の削減を促進。
事業目的		

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○「事業所省エネ計画書制度」の周知・広報 事業者に対して制度の周知を行うとともに制度への参加を促すために、合同説明会や事業者訪問による個別案内を実施 ○「事業所省エネ計画書制度」の運用 制度に参加した事業所の省エネを支援するために、現地調査による省エネアドバイスや、報告書の交付等による省エネ対策事例や国の補助事業等の紹介を実施

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	4,986
歳入	特定財源	
	一般財源	4,986
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	4,767 11,837
歳入	特定財源	
	一般財源	4,767 11,837

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
		・事業所省エネ計画書制度の周知・広報 ・事業所に対する省エネサポートを実施する	・事業者が事業所省エネ計画書制度に参加する ・省エネサポート等を通じて、事業者が省エネ対策を実施する	・業務部門におけるエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量が削減される 注:国等のデータを基に算定する必要があるため、H30年度の集計結果が出るのがH32年度となる。	・業務部門における二酸化炭素排出量の削減により、人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		事業所省エネ計画書制度参加事業所数(累計)	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
			目標	-	30		H33年度
	実績		-	20	60		120
	達成率		-	66.7%			
		目標				H 年度	
		実績					
		達成率					

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	地域集団回収等の支援(地域集団回収等報奨制度、拠点での支援物回収事業)		
所管課	環境局循環型社会推進部 資源循環推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	集団H3,拠点H8,民間協力H12		長年に渡る地域主体による資源物回収は、古紙の戸別回収(行政回収)に代わる制度として定着しており、報奨制度により支援を行うことで、これらの団体の活動資金になるだけでなく、地域コミュニティづくりの資金として市民に還元されている。また、紙ごみの減量・リサイクルの促進を目的に地域集団回収を補完する古紙リサイクル事業の一つとして拠点回収事業を実施。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画		

基本計画			
施策コード	主	4-2-1	
	再		
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	循環型社会システムの構築		
事業群	3Rの推進		
施策成果指標	ごみ処理量 (H34年度目標値: 49万トン) リサイクル率 (H34年度目標値: 36%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・地域集団回収等の実施団体 ・古紙等の資源物を排出する市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ・地域集団回収等の実施団体が、地域での資源物回収活動を活発、継続的に行う。 ・多くの市民が古紙等の資源物回収に参加する。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○地域集団回収等報奨実施要綱に基づき、地域集団回収等実施団体に対し、回収量に応じた報奨金等を交付。 対象団体数 1,965団体 報奨金 208,943,120円 ○市民の身近な場所に回収拠点を設置 ①紙リサイクルボックス 0か所増(2増2減, 計326か所) ②校区紙リサイクルステーション 0か所増(1増1減, 計97か所) ③区役所・市民センター等資源物回収ボックス (増減なし, 計9か所) ④民間協力店 (63か所) ○単身世帯向け啓発 単身世帯マンション管理会社、古紙回収業者と協働し、古紙リサイクルへの参加促進のためマンションでの資源物回収をモデル的に実施 実施マンション数 58箇所 回収量 15,333kg
-----------------	---

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
歳出合計	418,981	
歳入	特定財源	418,981
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
歳出合計	399,288	426,426
歳入	特定財源	399,288 426,426
	一般財源	0 0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																	
	・集団回収の回収量に応じた報奨金等を交付する。 ・資源物回収拠点を増設・修繕する。 ・古紙等の資源物リサイクルの方法や回収場所について市民に啓発する。	・実施団体が、報奨金等をもとに活動を実施、継続することができる。 ・市民が資源物回収に参加しやすくなる。 ・市民が資源物リサイクルの知識を増やしリサイクル意識が向上する。	・実施団体による資源物回収が活発、継続的に実施される。 ・市民が古紙等の資源物を回収拠点に持ち込み、家庭ごみとして排出しなくなる。	・ごみ処理量が削減される。 ・リサイクル率が向上する。																																																																	
	活動の指標	実績	目標	実績	目標																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">指標の内容</th> <th style="width: 5%;">年度</th> <th style="width: 10%;">H29年度</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">H31年度</th> <th style="width: 10%;">最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">回収拠点設置数(か所)</td> <td>目標</td> <td>511</td> <td>513</td> <td rowspan="3">514</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>500</td> <td>495</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.8%</td> <td>96.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域集団回収等実施団体数</td> <td>目標</td> <td>2,023</td> <td>1,988</td> <td rowspan="3">1,990</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,976</td> <td>1,965</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.7%</td> <td>98.8%</td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	回収拠点設置数(か所)	目標	511	513	514	H32年度	実績	500	495	515	達成率	97.8%	96.5%		地域集団回収等実施団体数	目標	2,023	1,988	1,990	H年度	実績	1,976	1,965		達成率	97.7%	98.8%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">指標の内容</th> <th style="width: 5%;">年度</th> <th style="width: 10%;">H29年度</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">H31年度</th> <th style="width: 10%;">最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">集団回収等によるリサイクル量(トン)</td> <td>目標</td> <td>52,439</td> <td>52,573</td> <td rowspan="3">52,708</td> <td>H37年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>36,370</td> <td>34,191</td> <td>53,614</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>69.4%</td> <td>65.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度	集団回収等によるリサイクル量(トン)	目標	52,439	52,573	52,708	H37年度	実績	36,370	34,191	53,614	達成率	69.4%	65.0%			目標				H年度	実績				達成率		
指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																
回収拠点設置数(か所)	目標	511	513	514	H32年度																																																																
	実績	500	495		515																																																																
	達成率	97.8%	96.5%																																																																		
地域集団回収等実施団体数	目標	2,023	1,988	1,990	H年度																																																																
	実績	1,976	1,965																																																																		
	達成率	97.7%	98.8%																																																																		
指標の内容	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度																																																																
集団回収等によるリサイクル量(トン)	目標	52,439	52,573	52,708	H37年度																																																																
	実績	36,370	34,191		53,614																																																																
	達成率	69.4%	65.0%																																																																		
	目標				H年度																																																																
	実績																																																																				
	達成率																																																																				

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	使用済小型電子機器回収事業		
所管課	環境局循環型社会推進部 資源循環推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成25年度		民間事業者が事業主体となって、北九州市と共同でモデル事業を行ってきたが、平成25年4月の法施行に伴い、市が主体となって本格実施をすることになったもの。
根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律		
行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画		

基本計画			
施策コード	主	4-2-1	
	再		
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	循環型社会システムの構築		
事業群	3Rの推進		
施策成果指標	ごみ処理量 (H34年度目標値: 49万トン)		
	リサイクル率 (H34年度目標値: 36%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	使用済小型電子機器を排出する市民
	対象をどのような状態にしたいのか	家庭から排出される使用済小型電子機器を市民が自ら回収ボックスへ持ち込む。
事業目的		

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・回収ボックスでの回収 区役所やスーパーマーケット等66か所に設置した回収ボックスで回収を実施した。 ・粗大ごみからのピックアップ回収 回収品目拡大及び回収量増加のため、粗大ごみからのピックアップ回収を行った。 ・民間事業者との連携 宅配便を活用した小型電子機器の回収を行っている民間事業者と協定を結び、広報を行う等により市で回収しない小型電子機器について再資源化を促進した。

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
	歳出合計	774	
歳入	特定財源	774	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
	歳出合計	715	3,835
歳入	特定財源	715	3,835
	一般財源	0	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・回収ボックスで回収を行う。 ・回収事業について周知を図る(市政だより, ホームページ, ポスター掲示) ・回収方法の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使用済小型電子機器を持ち込みやすくなる。 ・市民が使用済小型電子機器を資源物として回収できることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が回収ボックスに使用済小型電子機器を持ち込む。 ・市民が回収対象品目を燃えないごみとして排出しない。 ・使用済小型電子機器のリサイクル意識が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理量の削減。 ・リサイクル率の増加。 		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
		年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
		目標	66	66	66か所	H年度
	実績	63	66			
	達成率	95.5%	100.0%			
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標		
		年度	H29年度	H30年度	H31年度
		目標	4,500	5,000	
		実績	5,519	8,530	5,000
		達成率	122.6%	170.6%	
	目標	32,000	32,000		
	実績	35,445	41,619	32,000	
	達成率	110.8%	130.1%		

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	事業系ごみ資源回収推進事業	
所管課	環境局循環型社会推進部 資源循環推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 事業系ごみの資源化にあたっては、自己処理責任のもと、事業者の自主性に委ねるだけでは資源化が進まない現状がある。そのため、事業系古紙をはじめとして、事業者の資源化に向けた取組みを支援する必要がある。なお、平成23年度からは「事業系ごみ資源化推進ファンド」を活用し支援を行っている。
開始年度	平成15年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画	

基本計画		
施策コード	主 4-2-1 再	施策成果指標 ごみ処理量 (H34年度目標値:49万トン) リサイクル率 (H34年度目標値:36%)
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	
施策	循環型社会システムの構築	
事業群	3Rの推進	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内の事業者
	対象をどのような状態にしたいのか 事業者が排出する事業系可燃ごみの内、約45%を占める紙類、約25%を占める食品廃棄物の減量・資源化を推進し、ごみとして処理するのではなく、確実にリサイクルする状態にする。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 事業系ごみ資源化推進ファンドを活用し以下の事業を実施 ●事業系ごみ資源化情報発信事業(H24年3月～HP作成、資源化情報の発信、古紙回収マッチングサービス、ルールブックの配布、もったいない!食べ残しをなくそう福岡エコ運動等) 【古紙の資源化に関する事業】 ●事業系古紙回収推進事業(H15年～関連業界との連携による効率的な古紙回収システムの構築・拡大) ●資源物回収協定制度(H23年～古紙回収業者との協定締結、市HPでのPR) ●ごみ収集許可業者の収集ルートを活用した新たな古紙回収の取組みの周知(H30年3月～) 【食品廃棄物の減量・資源化に関する事業】 ●事業系食品廃棄物リサイクル推進事業(H21年～25年リサイクルルート構築支援、H26年～食品リサイクル施設を活用した啓発・施設見学会等) ●フードバンク活動の広報啓発(H29年～)
-----------------	--

事業費(千円)			
平成30年度決算額(見込額)			
歳出合計		5,898	
歳入	特定財源	5,898	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H29	H31
歳出合計		5,899	48,836
	歳入		
特定財源		5,899	48,836
	一般財源	0	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)					
	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者への事業系ごみ資源化発信サイトの広報及び情報発信を行う 食品関連事業者への啓発 もったいない!食べ残しをなくそう福岡エコ運動の広報啓発を行う 福岡エコ運動協力店を活用し、食品ロス削減に取り組む フードバンク活動の広報啓発 		<ul style="list-style-type: none"> 古紙・食品廃棄物のリサイクルに取り組む事業者が増え、事業系ごみのリサイクル促進が定着する。 飲食店等での食べ残しが減り、ごみの排出量が削減する。 食品製造、流通の過程でフードバンクへの寄付量が増え、ごみの排出量が削減する。 		<ul style="list-style-type: none"> 古紙・食品廃棄物のリサイクル量が増える。 古紙・食品廃棄物の排出量が減少する。 		<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理量の減少 リサイクル量の増加 					
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標	
			年度	H29年度	H30年度	H31年度			最終年度	年度	H29年度	H30年度
	古紙マッチングサービス利用申し込み件数	目標	70	70	70	H年度	事業系古紙リサイクル量(t)	目標	152,182	153,972	155,762	H37年度
		実績	80	103				166,602				
		達成率	114.3%	147.1%								
	メールマガジンによる情報発信数	目標	6	6	6	H年度	事業系食品廃棄物リサイクル量(t)	目標	7,700	7,700	7,700	H37年度
		実績	6	7				18,000				
		達成率	100.0%	116.7%								

事務事業マネジメントシート（平成30年度実施分）

事業区分 重点

事業名	ふくおかの環境技術を活かした国際貢献・展開	
所管課	環境局環境政策部 環境政策課	背景
開始年度	平成9年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市環境基本計画	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
平成9年に本市で開催されたアジア太平洋都市サミットを契機に準好気性埋立構造「福岡方式」への関心が高まり、アジア諸国を中心に技術者の派遣、現地での技術指導などの国際協力を行ってきた。		

基本計画				
施策コード	主	8-6-1		施策成果指標
	再	8-3-1		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進			
事業群	国際貢献・国際協力の推進			視察・研修生受入人数

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	アジア太平洋諸国の自治体
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	「福岡方式」をはじめ、本市が有する環境技術が普及し、対象地域の環境が改善される。

実施内容(手段)	平成30年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<p>○職員の派遣(廃棄物処理に係る国際技術協力実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣者数 130名(12カ国, 69件)【累計】 ※平成30年度は、ミャンマー・ヤンゴン市の埋立場現地調査・協議等に6回(延べ20名)の職員を派遣した。 <p>○廃棄物埋立技術「福岡方式」を学ぶ研修員の受け入れ【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修員 12名(8カ国) ※ミャンマー、ミクロネシアなど ・視察者 392名(40カ国) ※タイ、マレーシア、韓国など

事業費(千円)		
平成30年度決算額(見込額)		
	歳出合計	8,919
歳入	特定財源	1,933
	一般財源	6,986
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H29 H31
	歳出合計	6,162 65,548
歳入	特定財源	3,146 64,014
	一般財源	3,016 1,534

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<p>・「福岡方式」など、福岡市が有する環境技術を積極的にPRするとともに、これに対するニーズを踏まえ、技術協力を実施する。</p>	<p>・技術協力を実施した地域において環境技術が向上し、その地域の環境が改善される。</p>	<p>・技術協力を受けた地域において、福岡市が有する環境技術を自らの手で活用できるようになり、さらに、それぞれの地域を拠点に、その環境技術が他地域にも広がる。</p>	<p>・アジア太平洋地域における広域的な環境改善が進み、それが本市の環境改善にも寄与する。また、本市の環境都市としての認知度が高まる。</p>		
活動の指標	指標の内容	実績		目標		
	技術協力(職員海外派遣)実施件数(累計)	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	目標		59	66	70	H31年度
	実績		63	69		70
	達成率		106.8%	104.5%		
	目標					H年度
	実績					
	達成率					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	研修・視察受入人数	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
	目標		350	350	350	H34年度
	実績		332	402		350
	達成率		94.9%	114.9%		
	目標					H年度
	実績					
	達成率					